



だまされないで！ 「振り込め詐欺」の新手口

毎日のように新聞紙上で「振り込め詐欺」の被害が報道されています。

「振り込め詐欺」とは、「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「融資金保障金詐欺」「還付金等詐欺」を総称して、「振り込め詐欺」といいます。

北海道警察の発表では、昨年一年間の被害は、認知件数で99件、被害総額1億7,173万円で、前年に比し、件数では2件減となっているものの、被害総額では7,795万円増えています。

今年に入ってから、一月に札幌、旭川、北見方面で5件、1,179万円の被害が発生しています。

私たちがいくら気をつけても、詐欺の手法はどんどん巧妙化しています。手口が知れ渡る頃には既に一稼ぎして次の手口へと、私たちをだます新しい手口を考えています。

一般的なオレオレ詐欺は、現金をATMや金融機関の窓口で振り込ませてだまし取りますが、犯人が直接訪問して現金やキャッシュカードをだまし取る事例が全国的に増加しており、警察ではこれらの詐欺を「手渡し型のオレオレ詐欺」と位置づけ警戒態勢をとっています。

犯人は、高齢者宅に的を絞って電話を掛け、言葉巧みに現金をだまし取ったり、暗証番号を聞き出してキャッシュカードをだまし取り、ATMで現金を引き出します。

今後、犯人グループが、不審電話をかけてキャッシュカードをだまし取ろうとする可能性がありますが、十分気をつけてください。

手渡し型オレオレ詐欺の事例

◆息子を装ったもの

「会社の金を横領して、今、上司に問い詰められている」
「上司はお金を返せば問題にしないと言っている」
「今から同僚の〇〇君が家に取りに行くからお金を渡してほしい」

◆警察官を装ったもの

「あなたの個人情報に漏れているらしく、キャッシュカードが偽造されて〇〇銀行から〇〇万円引き出されています」
「今、金融機関の者があなたの家を訪問し、キャッシュカードを回

収にいきますから、預けてください」

◆社会保険庁を装ったもの

「以前お宅に後期高齢者医療費の還付金の通知を送ったのですが、確認しましたか」

「医療費が〇万円戻りますが今日中に手続きをしなければ戻りません」

「当方の職員がお宅の周辺におりますので、今から何かせ手続きをとります」

「キャッシュカードを職員に渡してください」

官公庁や金融機関などが口座番号や暗証番号を尋ねたり、キャッシュカードや通帳を受け取りに訪問することは絶対にありませんので、被害にあわないように、次のことを守ってください。

- ①絶対に口座番号、残高、暗証番号を他人に教えない。
- ②絶対にキャッシュカードや通帳を他人に渡さない。
- ③あやしい電話がかかってきたら、すぐに警察に通報してください。

トラブルに巻き込まれたら一人で悩まないで、早めに産業振興課水産林務商工グループ消費生活相談窓口へ相談しましょう。

長万部町消防本部が 『緊急消防援助隊』に 登録されました

長万部町消防本部に、本年四月一日付けで消防庁長官から「緊急消防援助隊登録消防本部証」が交付されました。

緊急消防援助隊は、日本における全国的な消防応援の制度に基づく消防部隊で、被災地の消防力のみでは対応困難な大規模・特殊な災害の発生時に、発災地の市町村長、都道府県知事あるいは消防庁長官の要請により出動し、災害活動支援を行います。

東日本大震災においても、登録消防本部から緊急消防援助隊が派遣され、多岐にわたる災害活動支援を行うなど、その実績と必要性は、ますます重要視されています。

長万部町消防本部の要請に対する災害活動支援が期待されています。

